



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日鉄住金物産株式会社

コード番号 9810 URL <http://www.nssb.nssmc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋渡 健治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 多田 昌功

TEL 03-5412-5003

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	418,525	△13.9	7,025	△2.9	7,223	△18.7	2,520	△57.7
28年3月期第1四半期	486,081	△2.1	7,236	7.5	8,889	28.3	5,964	27.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △881百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 7,328百万円 (80.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.15	—
28年3月期第1四半期	19.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	630,012	186,694	27.1
28年3月期	660,664	190,264	26.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 170,806百万円 28年3月期 173,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	7.50	—	75.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の期末配当金は7円50銭となり、1株当たり年間配当金は15円となります。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	920,000	△7.2	12,500	△7.8	12,500	△18.9	7,500	△23.9	24.26
通期	1,970,000	2.0	29,000	4.0	30,000	3.4	17,500	1.0	566.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は56円61銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	309,578,001 株	28年3月期	309,578,001 株
29年3月期1Q	433,014 株	28年3月期	431,256 株
29年3月期1Q	309,145,930 株	28年3月期1Q	309,167,840 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成28年7月29日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成28年6月28日開催の第39回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定です。これに伴い、平成29年3月期の期末配当予想及び通期連結業績予想における1株当たり当期純利益について、株式併合を考慮した金額を記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国は個人消費が底堅く推移し、欧州主要国も個人消費に支えられ堅調に成長を維持するなど、先進国経済は回復基調を維持したものの、中国の景気減速に加え、英国の欧州連合(EU)離脱問題など、先行きの不透明感は増しております。

日本経済は、雇用環境においては改善傾向にあるものの、急激な円高進行による輸出企業の収益悪化懸念や設備投資の回復に足踏み状態が続き、全体としては停滞感が強まりました。

このような経営環境の下、当社グループの連結業績につきましては、売上高は675億円、13.9%減収となる4,185億円となりました。営業利益は2億円、2.9%減益となる70億円、経常利益は16億円、18.7%減益となる72億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損等の特別損失の計上もあり、34億円、57.7%減益となる25億円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼事業におきましては、当第1四半期の全国粗鋼生産は平成26年度第2四半期以来の前年同期比増となりましたが、普通鋼鋼材国内出荷は19ヶ月連続で前年同月を下回りました。当社の販売数量は全体では前年同期並みとなりましたが、販売価格は国内、輸出とも大きく下落しました。これらにより、売上高は623億円、16.2%減収となる3,230億円となり、経常利益は前年同期に貸倒引当金戻入益の計上があったことから、16億円、30.0%減益となる38億円となりました。

## (産機・インフラ)

産機・インフラ事業におきましては、非鉄市況の下落により、売上高は20億円、8.8%減収となる214億円となりました。加えて、タイにおける持分法適用会社の減益及び前年同期に計上した企業結合による一過性の利益の剥落などにより、経常利益は11億円、59.9%減益となる7億円となりました。

## (繊維)

繊維事業におきましては、厳しい販売環境は継続するものの、一部の取引先への販売回復や、円高効果を含む原価低減などにより、売上高は16億円、4.3%減収となる373億円、経常利益は8億円、115.7%増益となる16億円となりました。

## (食糧)

食糧事業におきましては、食肉価格は全体として弱含みで推移する一方、利益率の改善により、売上高は14億円、4.0%減収となる363億円、経常利益は2億円、38.2%増益となる9億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権及びたな卸資産等の減少があり、前期末比306億円の減少となる6,300億円となりました。

負債合計は、仕入債務の減少があり、前期末比270億円の減少となる4,433億円となりました。

純資産合計は、当第1四半期連結累計期間での親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの、為替換算調整勘定の減少や配当金支払いがあり、前期末比35億円の減少となる1,866億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日公表の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(株式の併合等について)

当社は、平成28年5月10日開催の取締役会において、単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)に係る定款一部変更について決議するとともに、同年6月28日開催の定時株主総会に、株式の併合に関する議案(10株を1株に併合し、発行可能株式総数を5億株から5千万株に変更)を付議し、承認可決されております。この定款一部変更及び株式の併合は、平成28年10月1日をもって効力が発生いたします。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,767	20,723
受取手形及び売掛金	393,147	371,460
たな卸資産	96,614	89,312
その他	17,730	20,040
貸倒引当金	△1,380	△1,288
流動資産合計	525,878	500,247
固定資産		
有形固定資産	60,625	59,340
無形固定資産		
のれん	136	125
その他	922	846
無形固定資産合計	1,058	971
投資その他の資産		
その他	77,245	73,399
貸倒引当金	△4,143	△3,947
投資その他の資産合計	73,102	69,451
固定資産合計	134,786	129,764
資産合計	660,664	630,012
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,260	198,235
短期借入金	134,771	135,130
未払法人税等	4,650	1,286
引当金	3,658	2,341
その他	27,367	24,609
流動負債合計	387,707	361,602
固定負債		
長期借入金	70,840	70,541
引当金	493	471
退職給付に係る負債	1,879	1,880
その他	9,478	8,821
固定負債合計	82,692	81,714
負債合計	470,400	443,317
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	50,649	50,649
利益剰余金	101,678	101,910
自己株式	△117	△118
株主資本合計	164,546	164,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,817	5,337
繰延ヘッジ損益	△1,272	△1,614
為替換算調整勘定	5,659	2,500
退職給付に係る調整累計額	△237	△193
その他の包括利益累計額合計	8,966	6,029
非支配株主持分	16,751	15,887
純資産合計	190,264	186,694
負債純資産合計	660,664	630,012

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	486,081	418,525
売上原価	453,204	387,909
売上総利益	32,877	30,616
販売費及び一般管理費	25,640	23,591
営業利益	7,236	7,025
営業外収益		
受取利息	126	91
受取配当金	453	374
持分法による投資利益	1,355	474
仕入割引	180	117
その他	400	322
営業外収益合計	2,516	1,381
営業外費用		
支払利息	644	660
為替差損	—	371
その他	219	150
営業外費用合計	863	1,182
経常利益	8,889	7,223
特別利益		
投資有価証券売却益	141	20
特別利益合計	141	20
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	3,235
出資金評価損	—	38
持分変動損失	110	4
特別損失合計	110	3,280
税金等調整前四半期純利益	8,920	3,963
法人税等	2,710	1,162
四半期純利益	6,209	2,800
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	279
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,964	2,520

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	6,209	2,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,456	518
繰延ヘッジ損益	△133	△341
為替換算調整勘定	△191	△2,598
退職給付に係る調整額	13	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△1,306
その他の包括利益合計	1,119	△3,682
四半期包括利益	7,328	△881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,089	△427
非支配株主に係る四半期包括利益	239	△454

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	385,357	23,523	39,037	37,828	485,747	333	486,081	—	486,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209	430	1	—	641	28	669	△669	—
計	385,566	23,954	39,039	37,828	486,389	361	486,750	△669	486,081
セグメント利益 (経常利益)	5,455	1,952	754	717	8,879	12	8,892	△3	8,889

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去△3百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額△3百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	323,038	21,458	37,356	36,330	418,183	341	418,525	—	418,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	206	337	0	—	545	39	584	△584	—
計	323,244	21,795	37,357	36,330	418,728	381	419,110	△584	418,525
セグメント利益 (経常利益)	3,819	783	1,626	990	7,220	2	7,222	1	7,223

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去1百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額1百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。